



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3058 URL <http://www.sanyodohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員人事総務部長

(氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,203	7.1	294	—	318	—	262	—
2020年3月期第2四半期	9,529	△3.6	△89	—	△59	—	△96	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 313百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △99百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	36.07	—
2020年3月期第2四半期	△13.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	15,215	3,449	22.7
2020年3月期	14,794	3,136	21.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 3,447百万円 2020年3月期 3,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	0.2	250	64.6	300	44.7	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,400,000株	2020年3月期	7,400,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	116,606株	2020年3月期	116,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,283,394株	2020年3月期2Q	7,283,394株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言の解除後は、感染拡大の措置を講じつつ、段階的に経済活動を再開していく動きとなっておりますが、第2波の懸念も残ることから先行き不透明な状況が続いております。

そのため、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する政府及び自治体による各種要請に基づき、店舗の営業時間の短縮やフィットネス部門の休業等を行うとともに、お客様及び従業員の健康と安全を確保するため、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保、レジ前の飛沫感染防止シートの設置等、安全に十分に配慮しながら商品・サービスを提供してまいりました。

このような状況の中、外出の自粛やテレワーク等により自宅で過ごす時間が増え、巣ごもり需要から書店部門やTVゲーム部門、古本部門などの需要が増加いたしました。

また、当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受けております。このような経営環境のもと、当社グループは新本と古本を併売するハイブリッド型書店を核として、文具・雑貨などの販売部門を顧客のニーズの変化にあわせて展開するとともに、学びたい、健康になりたいといったニーズにあわせてフィットネス、教室等を併設した店舗を「ブックバラエティストア」として展開を進めております。

当第2四半期連結累計期間においては、大垣パロー店(岐阜県大垣市)の移転を行いました。一方で、榛原店を閉店したことから、当第2四半期連結会計期間末時点で76店舗3校となりました。また、6月に高浜Tぽーと店(愛知県高浜市)に「スポーツクラブアクトスWill_G(ウィルジー)」を導入したことから、フィットネス導入店舗は11店舗となりました。さらに、9月には新開橋店(名古屋市瑞穂区)において、中古トレカの取り扱いを開始するとともに、デュエルスペースを備えた大型トレカショップをオープンいたしました。

オペレーション面では、引き続き物販・レンタルを同時に取扱い可能な統合セルフレジを11店舗に導入し、セルフレジ導入店舗は57店舗となりました。また、新型コロナウイルス感染症対策に対応して、短縮営業を実施してまいりましたが、当第2四半期連結会計期間末現在では通常営業に戻しております。

主要な部門の売上高は、書店部門66億58百万円、文具・雑貨・食品部門9億87百万円、セルAV部門5億42百万円、TVゲーム部門3億88百万円、古本部門3億71百万円、レンタル部門9億93百万円、新規事業部門1億16百万円となりました。

増収部門としては、書店部門が11.8%増、文具・雑貨・食品部門が8.5%増、TVゲーム部門が35.0%増、古本部門が17.0%増となるなど、巣ごもり需要や好調なコミックの影響等もあり、増収となる部門が多くなりました。

減収部門としては、セルAV部門が16.8%減、レンタル部門が4.3%減、新規事業部門は新型コロナウイルス感染症の影響によりフィットネス店舗の営業自粛とそれに伴う会員数の減少の影響から、46.0%の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高102億3百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益2億94百万円(前年同四半期は営業損失89百万円)、経常利益3億18百万円(前年同四半期は経常損失59百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億62百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失96百万円)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの報告セグメントを単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は152億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億20百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加などにより流動資産が3億44百万円増加したこと、投資その他の資産の増加などにより固定資産が75百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては117億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7百万円増加いたしました。これは主に、仕入債務が増加したことなどから流動負債が3億39百万円増加し、一方で、長期借入金の返済が進んだことなどから固定負債が2億32百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては34億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億13百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日の「2020年3月期決算短信」において公表いたしました2021年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日(2020年11月13日)公表いたしました「2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,518,358	3,845,657
売掛金	287,742	236,666
商品	5,390,105	5,456,773
その他	270,717	272,512
流動資産合計	9,466,923	9,811,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,468,836	1,427,511
土地	2,082,910	2,082,910
その他(純額)	449,229	478,654
有形固定資産合計	4,000,976	3,989,077
無形固定資産	94,082	103,025
投資その他の資産	1,232,565	1,311,494
固定資産合計	5,327,624	5,403,597
資産合計	14,794,548	15,215,208
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,872,965	5,873,165
電子記録債務	—	1,414,104
1年内返済予定の長期借入金	514,044	499,056
未払法人税等	12,283	82,105
賞与引当金	46,993	73,335
ポイント引当金	117,140	108,810
資産除去債務	34,271	14,871
その他	553,942	425,976
流動負債合計	8,151,640	8,491,425
固定負債		
長期借入金	2,431,842	2,182,314
退職給付に係る負債	324,660	323,424
資産除去債務	611,855	603,876
繰延税金負債	66,598	84,242
その他	71,348	80,263
固定負債合計	3,506,305	3,274,120
負債合計	11,657,945	11,765,546

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,986,000	1,986,000
資本剰余金	1,721,244	1,139,163
利益剰余金	△554,076	290,698
自己株式	△100,520	△100,520
株主資本合計	3,052,648	3,315,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,814	116,081
退職給付に係る調整累計額	12,139	16,093
その他の包括利益累計額合計	83,954	132,175
非支配株主持分	—	2,145
純資産合計	3,136,602	3,449,661
負債純資産合計	14,794,548	15,215,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	9,529,810	10,203,304
売上原価	6,572,444	7,001,120
売上総利益	2,957,365	3,202,183
販売費及び一般管理費	3,047,123	2,907,358
営業利益又は営業損失(△)	△89,757	294,825
営業外収益		
受取利息	5,131	904
受取配当金	3,551	2,313
受取保険金	6,049	2,020
排出権収入	7,721	—
補助金収入	—	8,835
その他	17,074	17,262
営業外収益合計	39,528	31,335
営業外費用		
支払利息	9,239	7,547
その他	373	451
営業外費用合計	9,612	7,998
経常利益又は経常損失(△)	△59,841	318,161
特別利益		
固定資産売却益	1,100	22,036
その他	—	323
特別利益合計	1,100	22,359
特別損失		
固定資産除却損	327	0
特別損失合計	327	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△59,068	340,521
法人税、住民税及び事業税	6,404	72,219
法人税等調整額	31,525	3,463
法人税等合計	37,930	75,682
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,998	264,838
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△45	2,145
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,953	262,693

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△96,998	264,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,441	44,266
退職給付に係る調整額	△1,051	3,953
その他の包括利益合計	△2,492	48,220
四半期包括利益	△99,491	313,059
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△99,446	310,914
非支配株主に係る四半期包括利益	△45	2,145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月23日開催の第43回定時株主総会の決議により、2020年6月23日付で、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金582,081千円を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替え、利益準備金20,000千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替えております。また、会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金582,081千円及び別途積立金700,000千円を減少し、同額を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行いました。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症については、感染症の広がりや収束時期の見通しが不透明な状況にあるため、不確実性が大きく将来の事業計画等に反映させることが難しい状況であります。

そのため、新型コロナウイルス感染症拡大前と同様の仮定を用いて固定資産の減損損失等の会計上の見積りを行っております。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化した場合には、将来の連結財務諸表に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。